

官民連携データプラットフォーム 運営に向けた準備会 事務局補足参考資料

2020/11/30

【振り返り】アンケートで頂いた主なご意見（1/3）

主なご意見

事業内容関連

データ流通促進

- 民間事業者のデータを提供するための仕組みや対価に関する議論の深度化を期待する
- データの販売ができる仕組みが重要
- すでにある程度の情報を収集できている大企業よりも中小企業やベンチャー企業、研究者などが使用しやすい仕組みに期待

データ整備・標準化

- データは利用されてこそ価値がある。データクレンジングおよびツール開発で生データを利用できる形にしてもらえるのは大変ありがたい
- データ標準化は、東京都が音頭をとった方がよい

対象とするデータの分野

- 大学の調査データや論文、データを研究に用いるのであればその成果もオープンになるとよい
- 都道府県の持つデータの中で、道路や建物に関する情報等のベースレジストリを作成し、取り扱ってほしい

取り扱うデータの範囲 (匿名加工情報・個人情報)

- 取り扱うデータ範囲については、掲載されている範囲は妥当という認識
- 個人に関わらないデータから扱うことは否定しないが、自治体・企業・個人ともに利用したいデータは、個人情報に紐づいているものが多いのではないか
- 都民がメリットを感じ自分の意志によりオプトインし参加出来るようなスキーム作りが肝要

各議題を検討する際のインプットとする

【振り返り】アンケートで頂いた主なご意見 (2/3)

主なご意見

アーキテクチャ
関連

IDの整備

- コード (ID) の統一化や標準化はとても重要
- 国と自治体のベースレジストリ整備の役割分担・責任分担はどのようになるか

周辺自治体との連携

- 特別区や各市が乗らないとデータの網羅性が低くなるため、その対策を講じてほしい
- 周辺自治体との連携、都内の市区町村との連携に期待

国との連携

- 国が進める施策との連携に期待する。

他のPFとの連携

- 公共交通のように広域データを扱う事業者もあるため、分野特化の広域的な基盤との連携に期待

ポリシー
関連

インシデント対策

- データを扱う上での信頼性、インシデントが起きないための対策をまとめていく必要がある

ルール整備

- 「想定外の利用があったときの対応」や「規約のあり方、データ提供の範囲」は、非常に重要かつ、オープン化ありきとなりがちで議論が足りないケースが多い

第三者委員会

- 情報の安全性・利用者の安心を担保するために、第三者委員会によるモニタリング体制の構築が重要

各議題を検討する際のインプットとする

【振り返り】アンケートで頂いた主なご意見（3/3）

主なご意見

会議運営関連

ユーザー名

- 出席委員、出席者の役割や所属をユーザー名に入れるようにご指示いただくと、見通しが良くなる

資料公開

- 可能な範囲で資料を事前に公開いただきたい。また前回からの流れを補間する議事録などがあれば、拝見したい

意見交換形式

- 委員の自由討論、ディスカッションの要素がもっとあると良い